

プレアボイド報告入力支援フォームについて

九州大学病院薬剤部

永田健一郎 Kenichiro NAGATA

プレアボイド報告は、日本病院薬剤師会（以下、日病薬）が行う薬剤師による薬学的患者ケア事例の収集事業であり、令和元年度における全国からの報告総数は43,431件にのぼります。これらの報告は実臨床における薬剤師の実績を示す貴重なデータであり、ほかの薬剤師によるプレアボイド報告事例から学び、目前の患者治療へ活かすことで、薬剤師のスキル向上へと繋がるのが期待されます。日病薬医薬情報委員会では、各報告施設におけるプレアボイド報告の作業負担を軽減し、プレアボイド報告をさらに推進していくことを目的として、プレアボイド報告入力支援フォーム（エクセルファイル）を作成・公開しています。本稿では、このプレアボイド報告入力支援フォームについて、紹介させていただきます。

はじめに

プレアボイド報告入力支援フォームには、各様式（様式1：副作用の重篤化回避、様式2：副作用の未然回避、

様式3：薬物治療効果の向上）に合わせた3種類のファイルが用意されています。様式1のプレアボイド報告入力支援フォームへの入力例を図1に示します。

様式1(重篤化回避報告)

事例表題	ワーファリン過量内服による皮下出血の重篤化回避				
報告日	2020/1/31	※送信日ではなくプレアボイド報告のあった日を入力			
年齢(歳)	70	入院/外来	入院		
月齢(0歳のみ)		妊娠			
性別	男	飲酒	※種類/1日量		
身長(cm)		喫煙	※1日本数		
体重(kg)		職業			
副作用等の発見(確認)者	薬剤師				
発見の端緒	初期症状指導による患者の訴え 薬歴				
関与した薬剤師の担当	病棟業務				
薬学的管理の種類(①~④のうち、いずれか1つを入力)	①副作用:副作用名を入力	皮下出血			
	②相互作用				
	③患者との関連				
	④その他				
発現年月日		発見年月日	2020/1/7		
経過(日付(例:8/1)・副作用の初期症状・臨床所見・検査値・薬剤師の関与等)「Alt」+「Enter」で改行可能	薬剤師による初回面談時、複数の病院からワーファリンが重複して処方されていることを発見した。薬剤師は一包化されていたため、患者は同じ薬剤であることに気づいておらず、重複して服用していた。前腕部に皮下出血の訴えがあり、ワーファリン過量内服による副作用の可能性が考えられた。 主治医へ報告の上、PT-INRの測定を依頼した。PT-INRの延長が認められたため、ワーファリンは休業され、減量して再開することにより、至適PT-INR値となった。				
薬剤師のコメント					
薬剤師関与による具体的効果	ワーファリンの過量内服を薬剤師が早期に発見し、皮下出血の重篤化を回避することができた。				
原疾患	慢性心房細動	治療開始日			
合併症		肝障害の既往	無		
その他の既往		腎障害の既往	無		
副作用歴	無	原因薬剤名:			
		副作用名:			
アレルギー歴	無	原因薬剤名:			
被疑薬	ワーファリン錠1mg	投与経路	1日量	使用期間	使用目的
		内服	6mg/日	1ヶ月	慢性心房細動
併用薬	フロセミド錠20mg 内服 1錠/日 オルメテック錠20mg 内服 1.5錠/日 ラベプラゾールNa錠10mg 内服 1錠/日 エディロールカプセル0.75μg 内服 1Cap/日	投与経路	1日量	使用期間	使用目的
備考・追加等					
転帰	回復				
因果関係	明らかに関連有り				
厚生労働省安全性情報報告					
副作用被害救済機構申請					
報告施設名	〇〇病院	※必ず施設の正式名称でご入力ください。			
都道府県	東京都	施設住所	東京都渋谷区渋谷2-12-15		
電話番号	0123-456-7890	FAX番号			
報告者氏名	日病 太郎	e-mail	taro.nichiby@xxx.xxx		
報告状況					

入力内容をクリア
動作環境情報
日病薬HPへ転記

図1 プレアボイド報告入力支援フォーム（様式1）への入力例

プレアボイド報告入力作業の効率化・チェック機能

プレアボイド報告入力支援フォームでは、各入力項目を可能な限りプルダウンメニューまたはカレンダーによる選択方式にすることで、入力作業の効率化を図っています。また、入力内容に対するチェック機能(例:年齢に数値以外の値が入力された場合にアラートを表示、日付項目に日付以外の値が入力された場合にアラートを表示等)や、必須入力項目が入力されているかをチェックする機能を有しています。これにより、日病薬ホームページ上でプレアボイド報告の本登録を行う際に、エラーが発生してしまうことを未然に防いでいます。

日病薬ホームページへの入力内容の転記

プレアボイド報告入力支援フォームへの入力完了後、「日病薬HPへ転記」ボタンをクリックすると、Internet Explorerが起動し、日病薬ホームページ(プレアボイド報告のページ)上に入力内容が自動的に転記されます。これにより、ブラウザ上で再び情報を手入力することなく、日病薬への報告をスムーズに行うことが可能です。なお、本機能はInternet Explorer以外のブラウザ(Google ChromeやFirefox等)では利用できないことにご注意ください。

正式な医薬品名とコード情報の登録

様式1の被疑薬、および様式2の薬剤名の項目については、医薬品名を入力すると、プレアボイド報告入力支援フォームに含まれる医薬品マスタ情報を基に、候補薬剤の正式な商品名がリストに表示されます(図2)。また、「日病薬HPへ転記」ボタンにより日病薬ホームページへ入力内容を転記した際、医薬品名の末尾に医薬品のコード情報が付加されます。この正式な医薬品名とコード情報の登録によって、日病薬へ報告されるプレアボイド事例の紹介対象となった医薬品を一意に特定することが容易となり、これまでよりも詳細な集計・データ解析を行うことが可能となります。

被疑薬	投与経路	1日量	使用期間
ワーフ	内服	6mg/日	1ヶ月
ワーファリン錠 1mg			
ワーファリン錠 5mg			
ワーファリン錠 0.5mg			
ワーファリン顆粒 0.2%			

図2 医薬品マスタ情報を基にした商品名のリスト表示

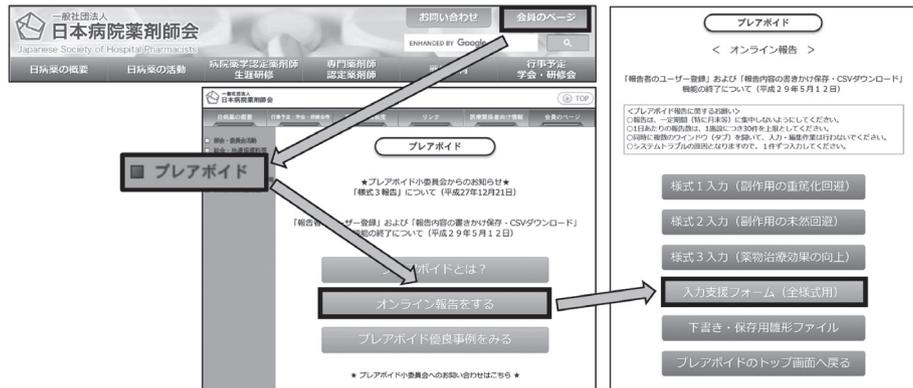


図3 プレアボイド報告入力支援フォーム・マニュアルの入手方法

プレアボイド報告の管理・共有

「日病薬HPへ転記」ボタンをクリックすると、プレアボイド報告入力支援フォームの「事例表題」の値をファイル名として、保管用エクセルファイルが自動的に作成されます。保管用エクセルファイルは、医薬品マスタのデータを削除することで容量を大幅に削減しており、取り扱いが容易なものとなっています。各報告施設において、この保管用エクセルファイルを特定PCのフォルダにまとめて保存しておくことで、施設内の薬剤師間で簡単にプレアボイド報告を管理・共有することが可能となります。また、プレアボイド報告入力支援フォームのレイアウトは、印刷時に1頁に収まるように調整されているため、印刷物を用いてプレアボイド報告を管理・共有する場合にも使いやすいものとなっています。

おわりに

本稿で紹介したプレアボイド報告入力支援フォームを利用することにより、プレアボイド報告に伴う一連のワークフローが効率化されることが考えられます。プレアボイド報告入力支援フォームおよびマニュアルのファイル一式は、日病薬ホームページの「会員のページ」からダウンロード可能となっています(図3)。各報告施設においてプレアボイド報告入力支援フォームを積極的にご活用いただき、プレアボイド報告のさらなる活性化に繋がることを期待します。